

キャリア教育における「京の子ども 明日へのとびら」の活用実践事例
小学校・中学年編 第1部 1
「そうじする」

特別活動（学級活動）指導案

- 1 学年 第4学年
- 2 中学年のキャリア発達課題
 - (1) 友だちと協力して活動する中でかかわりを深める。
 - (2) 自分の持ち味を發揮し、役割を自覚する。
- 3 中学年におけるキャリア発達にかかわる諸能力
 - (1) 意思決定能力
 - 【選択能力】
 - ・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。
 - ・してはいけないことが分かり、自制する。
 - 【課題解決能力】
 - ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。
 - ・自分の力で課題を解決しようと努力する。
 - (2) 人間関係形成能力
 - 【自他の理解能力】
 - ・自分のよいところを見つける。
 - ・友だちのよいところを認め、励まし合う。
 - ・自分の生活を支えている人に感謝する。
 - 【コミュニケーション能力】
 - ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。
 - ・友だちの気持ちや考えを理解しようとする。
 - ・友だちと協力して、学習や活動に取り組む。
 - (3) 将来設計能力
 - 【役割把握・認識能力】
 - ・互いの役割や役割分担の必要性がわかる。
 - ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。
 - 【計画実行能力】
 - ・将来の夢や希望を持つ。
 - ・計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。
 - ・学習等の計画を立てる。
 - (4) 情報活用能力
 - 【情報収集・探索能力】
 - ・いろいろな職業や生き方がいることが分かる。
 - ・分からないことを、図鑑などで調べたり、質問したりする。
 - 【職業理解能力】
 - ・係や当番活動に積極的にかかわる。
 - ・働くことの楽しさが分かる。

参考『児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について』（国立教育政策研究所・生徒指導研究センター）

- 4 関連する教育活動
「京の子ども夢・未来体験活動」（仕事体験）総合的な学習の時間等
- 5 関連する道徳の価値 1 - (5) 2 - (3) 4 - (2)
- 6 本時のねらい
 - ・互いの役割や役割分担の必要性がわかる。（将来設計能力【役割把握・認識能力】）
 - ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。（将来設計能力【役割把握・認識能力】）
- 7 授業改善の視点

- (1) 言語活動の充実
グループ活動を入れることで、お互いの気持ちや考えに基づいた対話をさせる。
- (2) ねらいの明確化
導入と展開の前半で学習意欲を高めた上で、本時のめあてを明確に示す。

8 本時の展開

過程	学 習 活 動	主 な 発 問 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導 入	1 大人になってなりたい仕事について発表する。	将来どんな仕事をしたいですか。 ・サッカー選手 ・野球選手 ・幼稚園の先生	・希望や夢を語らせるようにして、学習への関心を高めるようにする。	
展 開	2 今学習していることと将来のつながりを考える。	毎日学校でいるんなことを勉強していますが、そのことは将来どんなことに役立つでしょうか。 ・国語 難しい文が読める。 ・算数 お金の計算 ・体育 体力をつける など	・グループで話し合ったことを、2つずつカードに書いて発表させる。 [] ・学習だけでなく、生活面についても考えるよう指導する。	日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。
	3 他のグループの発表を聞く。			
	4 そうじについて考える	<u>めあて</u> 今日は毎日している「そうじ」について考えてみましょう。毎日、どんなことを考えてそうじをしていますか。簡単に書いてみてください。	・ワークシートにそうじをどんな気持ちでやっているか簡潔に書かせる。 ・ゆっくりと範読する。	
	5 資料「そうじする」を読む 6 内容を把握する。	「そうじする」には、どのようなことが書いてありましたか。 ・毎日繰り返すことが大切だ ・気持ちよくなるということ ・チームワークが大切だということ ・人に喜んでももらえたり、仲良くなれたりすること	・そうじの中に含まれている役割や役割分担の要素に気付かせるようにする。	
	7 そうじから学ぶことを考える。	それでは、最初に使ったものと同じカードをもう1枚配ります。「そうじ」で勉強していることは、これから先どんなことに役立つのでしょうか。 ・そうじ チームワーク ・そうじ 仲良くなれる	・いろいろ意見が出る中で、一番大切だと思う内容にしばらせる。 [そうじ]	互いの役割や役割分担の必要性がわかる。
終 末	7 そうじに対する意欲をもつ。	「そうじする」を読む前に書いたこれまでの自分の気持ちと、少し変わったことはありますか。あったら隣の欄に書いておきましょう。	・そうじの中に様々な学びがあることに気付いたことを評価し、意欲的に取り組んで行くことができるように励ましのことばをかける。	

9 板書計画

そうじ

「めあて」
「そうじ」について考えよう。

「そうじする」

- ・毎日繰り返すことが大切だ
- ・気持ちよくなるということ
- ・チームワークが大切

今日の生活

- ・算数 お金の計算
- ・遊び ルールを守る

〔各グループの発表〕

- ・サッカ－選手
- ・花屋さん

10 児童の反応等

【授業記録】

(導入)

教師1：もうすぐ4年生は「仕事体験」に行きますが、みなさんは将来どんな仕事をしたいですか。

児童1：サッカー選手です。

児童2：ダンサーになりたいです。

児童3：プロ野球選手になりたいです。

教師2：みんな、今一生懸命にがんばっていることをずっと続けたいと思っているんですね。

教師3：それでは、今勉強していることは、将来どんなふうに関に立つのでしょうか。少し時間をかけて、グループで話し合ってみてください。話し合ったら、2つずつ発表してもらいます。

発表

児童4：体育は体力がつかます。英語は外国に行ったときに使えます。

児童5：漢字は生活の中でいろいろ必要です。英語は外国の人と交流できることです。

児童6：体育はスポーツにつながる。音楽は歌が上手になります。

児童7：英語はコミュニケーションがとれるようになる。社会は大人になって役立ちます。

児童8：国語は漢字が上手になる。英語は外国語が話せるようになります。

児童9：体育はスポーツ選手になるのに役に立つし、図工は画家になるのに役に立ちます。

児童10：国語は漢字が分かるようになるし、英語は外国語が話せるようになる。

児童11：道徳は人の気持ちが分かるようになる。学活は人との会話ができるようになる。

教師4：どのグループの答えも正解です。そんな気持ちで勉強していくとすばらしいですね。

教師5：どのグループからも出てこなかったことで、毎日やっていることがありますね。それは「そうじ」です。きょうは、「そうじ」についてもみんなで考えてみたいと思います。まず、「そうじする」という資料を読んでみましょう。

教師6：さて、「そうじする」ことには、どんな意味があると書かれていましたか。

児童12：「そうじは社会の第一歩」と書いてありました。

教師7：それはどういうことでしょうか。

児童13：仲よくなれる、ということだと思います。

教師8：確かに、そう書いてありましたね。他にありませんか。

児童14：チームワークが大切ということです。

児童15：そうじをした自分だけでなく、まわりの人たちも気分がよくなるということです。

教師9：いろいろなことが書いてありましたが、一番なるほどなと思ったことはどんなことですか。グループでそのことを話しあって、最初と同じカードに、一つだけ書いてみてください。

発表

児童16：そうじで将来役に立つことは、チームワークだと思います。

児童17：そうじすることは、みんなで仲良くすることにつながると思います。

教師10：なるほど、そうじすることは、いろんなことにつながっているんですね。

それでは、最後に、自分がどんな気持ちでそうじしてきたか、最初に書いたカードを読んで、その横にこの時間に感じたことや、気持ちが変わった人はどう変わったかを書いてみましょう。

感想1：最初はちょっとめんどくさいと思っていたけど、これからはめんどくさがらないでやろうと思いました。

感想2：そうじをすると、みんなが仲よくなれるなら、いっしょうけんめいやりてみようと思いました。

感想3：やっぱりそうじはいやだけど、そうじしたら気持ちいいし、授業もやる気が出てきそうな気がしました。